

## 午前8時 バスと横断歩道の女性と男児に衝突 バスの信号無視か？ 女性は意識不明

2015年2月4日(水)12時53分

東京都で4日午前8時ごろ、路線バスと横断歩道を渡ろうとした親子とみられる40代の女性と、1歳くらいの男の子が乗った自転車と衝突し、女性が意識不明の重体となっている。警視庁は、バスの運転手の男を過失運転致傷の現行犯で逮捕するとともに、横断歩道の信号がどうだったかなど、事故当時の状況をくわしく調べている。バス会社によると、ドライブレコーダーでバスの信号無視が確認されたという。

- ・正面衝突は、12～14時に多い (ハンドルやブレーキなどの操作ミスが原因)
- ・人対車両は、16～20時に多い (前方不注意が原因)

### ◆スリップ事故防止のポイント◆

- 対向車とすれ違うときや、カーブの手前では、早めにスピードダウン！
- 直前での強いブレーキは、スリップの危険！
- 車間距離は長めにとって、運転に余裕を！
- 無理な追越しは、絶対にしない！

## バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ  
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

## 出勤中、酒気帯び運転容疑で男逮捕

2015年02月04日 10時00分

佐賀署は3日、道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで、会社員の男性容疑者(47)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は、同日午前6時45分ごろ、佐賀県の市道で、酒気を帯びた状態で乗用車を運転した疑い。歩道の街路樹にぶつかる事故を起こし、署員が調べたところ、呼気1リットル中0・75ミリグラムのアルコールが検出された。出勤中だったという。

## 酒気帯び状態でバス運転、懲戒解雇

2015年2月2日(月)19時39分

大分県で路線バスを運行するバス会社は2日、営業所の男性運転手(46)が酒気帯び状態でバスを運転していたと発表した。同社は運転手を同日付で懲戒解雇した。同社によると、運転手は1月28日午前6時半から、同県で乗客計5人を乗せ、2便(計約40キロ)を運行。運行前に携帯型検知器で調べた際には異常なかったが、午前8時ごろ、営業所に到着後、固定型検知器を使うと呼気1リットル当たり0・17ミリグラムの酒気帯び反応があった。車庫の控室で携帯型を使った時の室温が目安(10～40度)より低く、正常に作動しなかった可能性があるという。

## 飲酒ひき逃げ死亡、懲役10年 「これから先も一生償ってまいります」

2015年1月30日(金)7時55分

埼玉県で昨年7月、ミニバイクに乗っていた飲食店アルバイトの女性=当時(65)=が乗用車に約1・3キロ引きずられ死亡した事件で、自動車運転処罰法違反(危険運転致死傷)と道交法違反(ひき逃げ)の罪に問われた元市職員の男性被告(26)の判決公判が29日に行われ、裁判長は懲役10年(求刑懲役15年)を言い渡した。判決で裁判長は、被告が大量の飲酒で極めて危険な運転を行い、女性をはねたことに気付きながら逃走した上、悪質な飲酒運転の隠蔽(いんべい)工作を行ったと指摘。「危険運転致死傷の事案の中では重い部類」とする一方、被告が反省の言葉を述べ、前科がないことなどを情状酌量の理由として挙げた。裁判長は公判の最後に「言葉だけではなく反省し、被害者への謝罪の気持ちを忘れないように」と説諭。被告は27日の論告求刑公判で「これから先も一生償ってまいります」と遺族に謝罪していた。